

俳句の可能性 宇多喜代子

組

番

課題一 教科書から次の読みの漢字を抜き出そう。

31	ほちよう	26	しよとう	21	とびばい	16	ひや	11	ようじ	6	しようりやく	1	はいく
32	さそう	27	ひめる	22	しゅんかん	17	せいやく	12	たずねる	7	かいしゃく	2	すずしい
33	おんりつ	28	くちびる	23	とらえる	18	つくす	13	わずか	8	おぎなう	3	へだてる
34	みちばた	29	ほうろう	24	ちゆう	19	ぼうとう	14	しようじ	9	かんしよう	4	ふく
35	あいさつ	30	はいじん	25	かんせい	20	だんねん	15	いくど	10	こかげ	5	ほうとう

課題二次の意味に当てはまる言葉を語群から選ぼう。

《語群》

1 () ……文章や物事などの意味・内容を理解し、説明すること。

解釈

2 () ……心を刺激して、その気持ちをわき立たせる。

かきたてる

3 () ……きつぱりあきらめること。

感性

4 () ……何かを見たり聞いたりしたときに心に深く感じ取る力。

断念

5 () ……ただその事だけに心が向かうさま。

ひたすら

6 () ……注意して見る。視線を向ける。

目を留める

課題三 俳句に関する語句を教科書本文から抜き出そう。

語句	説明
1	言葉のリズムなどに制約のない通常の文。小説、随筆、論文など。
2	リズムを整えた文。詩や短歌、俳句など。
3	俳句などにおいて、句の季節を決める言葉。
4	季語のある俳句のこと。
5	季語のない俳句のこと。季語があっても季節にとられない俳句もさす。
6	季語を分類しまとめた本。季寄せともいう。
7	五・七・五の音律にのつった俳句。
8	五音や七音より音の数が多い俳句。
9	五音や七音より音の数が少ない俳句。
10	定型に縛られない自由な音律の俳句。
11	俳句に切れを生み出す語のこと。「かな」「けり」「や」など。